

ウクライナのエネルギー分野支援に関する共同声明

(2024年9月23日)

我々G7+閣僚グループは、ロシアによるウクライナ及び同国のエネルギーインフラに対する残虐かつ不当な攻撃に直面している同国に対する揺るぎない支援を再確認するため、第79回国連総会の際に会合した。

我々は、国際的に認められた国境内のウクライナの領土一体性、独立及び主権に対する強いコミットメントを再確認し、国連憲章およびその原則を含む国際法に基づく包括的、公正かつ持続的な平和を実現するために必要な主要な優先事項に焦点を当てることを再確認する。

我々は、ロシアがウクライナのエネルギーインフラ及びウクライナ全土の都市に対し、継続的にミサイルやドローンによる攻撃を行っていることを強く非難する。この攻撃は、2024年3月以来エスカレートしており、ウクライナのエネルギー安全保障並びに寒い冬の時期におけるウクライナ国民の電気、暖房及び水などの重要なサービスへのアクセスを深刻に脅かしており、少なくともウクライナの独立以来、同国にとって最も厳しいものとなる可能性がある。我々は、このような攻撃の地域への影響、特にモルドバ共和国のエネルギー安全保障に及ぼす影響を強調する。ロシアは、侵略戦争を終結させ、自らが生じさせた損害を賠償しなければならない。

我々は、ウクライナのEUに向けた道筋に沿って、同国の短期、中期、長期の復旧・復興を支援し、ウクライナの持続可能な経済・社会復興に我々の民間部門と地方自治体を関与させるために取り組むことに改めてコミットする。我々は、エネルギー部門への投資に関する公平な競争条件を確立するビジネス環境改革へのウクライナのコミットメントを歓迎し、その重要性を強調する。我々は、国家エネルギー・気候計画の実施と同プロセスのモニタリングの重要性を強調する。我々は、これらの取り組みにおけるウクライナ政府と国民の努力を引き続き支援する。

我々は、EU加盟の道筋に沿ったエネルギー部門改革の実施及びOECD準拠の企業統治基準を含むエネルギー共同体条約に基づく義務の履行の重要性を強調する。これは、修理の規模及び新たなエネルギーインフラの必要性に鑑み、特に冬を前にして極めて重要である。

我々は、コミットした国々によるウクライナの防空能力の強化を含むエネルギーインフラを攻撃から守るための国際的な支援の必要性を認識し、そのような支援を継続する用意があることを再確認する。

我々は、ウクライナのエネルギー安全保障を脅かす、ロシアによるウクライナのザポリージャ原子力発電所の占拠並びに継続的支配及び軍事化を非難する。我々は、原子力エネルギー及び原子力施設のいかなる利用も、安全で、安心で、保護されかつ環境に配慮したものでなければならないことを強調する。7月11日の国連総会決議「ザポリージャ原子力発電所を含むウクライナの原子力施設の安全とセキュリティ」に関して、我々は、ザポリージャ原子力発電所は、IAEAの原則に沿って、その独立した監督の下で、ウクライナの完全で主権的な管理の下に戻さなければならないことを強調する。

我々は、ウクライナのエネルギーシステムを短期的及び長期的に再建することが、世界のエネルギー安全保障及び持続可能性の強化につながるものと確信している。

我々は、損傷した発電所や地域暖房システムの修理、新しい分散型発電の配備、重要なサービスのための緊急バックアップ電源、エネルギーインフラの受動的保護など、ウクライナのエネルギー分野における最も差し迫ったニーズに対応するための資金および現物支援の提供に関する

さらなるコミットメントを歓迎する。我々は、国際社会に対し、この点に関する取り組みを早急に強化し、ウクライナに必要なあらゆる支援を提供することを求める。

我々は、この点に関して、国際的なパートナー、銀行及びエネルギー共同体の「ウクライナエネルギー支援基金」による重要な取り組みを強調する。我々は、国際的なパートナーに対し、来る冬におけるウクライナの強じん性を高めるため、財政的貢献を拡大すること、特に基金に対する貢献を拡大することを求める。

エネルギー安全保障に関するワーキンググループの作業、2024年6月15日～16日にスイス・ビュルゲンシュトックで開催された第1回ウクライナの平和に関するサミットの成果及び2024年8月22日に開催されたエネルギー安全保障会議での生産的かつ建設的な対話の結果に基づき、我々は、ウクライナにおける包括的、公正かつ永続的な平和を実現することへの揺るぎないコミットメントを再確認する。

東京で開催された日・ウクライナ経済復興推進会議、ベルリンで開催されたウクライナ復興会議(URC)に基づき、また、2024年11月に開催される国連気候変動会議(COP 29)および2025年にイタリアで開催される予定のURCを見据え、我々は、より分散化され、多様化され、強じんでき、再生可能かつ持続可能な、ヨーロッパに完全に統合されたエネルギーシステムというウクライナのビジョンを支援し、最も喫緊のニーズへの支援を継続していくことにコミットしている。

(了)